

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社
Corporate Profile





挑戦し、 成長し続ける企業へ

Continue challenging, tomorrow is coming

TAKAMAZは創業以来、「稼ぐ機械を提供する」をモットーに掲げ、
お客様第一主義を貫いてきました。

「こんなことをしたい」というお客様の声をもとに、技術者、熟練技能者、
セールスエンジニアが協働の精神で設計からアフターサービスまで一貫して対応。
省スペース化・省人化、環境への配慮など、時流をいち早くとらえながら
高品質な工作機械を追求し、国内外で実績を重ねてきました。

おかげさまでTAKAMAZの工作機械は高い評価をいただき、
自動車産業を中心に、家電、コンピュータ、近年では医療、農業、航空機関連など
さまざまな分野に進出しています。

「マザーマシン」とも称され、すべての産業の基盤となる工作機械。

産業を取り巻く環境はITやIoT、AI技術の進歩により大きく変わりつつあり、
私たちの暮らしも様変わりしていくことでしょう。

これからもTAKAMAZは、

70年の歴史で培った知見と技術が未来の発展への架け橋となることを信じて、
あくなき探究心で前進し続けます。

「稼ぐ機械」の提供を目指して

工作機械事業

CNC旋盤・周辺装置の製造・販売、サービス・メンテナンス、コレットチャックの製造・販売

面取旋盤の製造に端を発するTAKAMAZの工作機械。他のメーカーに先駆けて自動化に取り組み、ロボットや計測・洗浄・箱詰めなどの周辺装置も自社で開発。省スペース化・省人化・省エネ化など、お客様の生産効率の向上に寄与してきました。単体機の使いやすさやスピードだけでなく、生産ライン全体を構築できるカスタマイズ技術もTAKAMAZの強み。世界最小クラスの6インチ旋盤や、新興国向けにコストを徹底的に抑え、女性作業員が多い環境を考慮して操作画面やボタンを低く配置したシンプルマシンなど、まさに「かゆい所に手が届く」TAKAMAZの機械は、自動車産業を中心に、国内外を

問わずさまざまな分野で活躍しています。また、オリジナルのコレットチャックも生産しており、受注から製造、アフターフォローまで一貫して対応しています。



コレットチャック



CNC旋盤



自動車部品加工事業

自社製旋盤による自動車部品の加工

TAKAMAZは自動車部品加工分野にも進出。自社製品で構築した自動化ラインでエンジンの部品である「スタータハウジング」や「エンドフレーム」を製造し、近年ではエアコンの圧力センサの部品加工も行っています。受注から出荷まで一貫した生産体制と、徹底した品質・納期管理により、お客様のご要望に沿った製品を提供しています。



IT 関連製造装置事業

液晶や半導体に関わる製造装置の製造

工作機械や自動車部品加工と並ぶ経営の柱を築こうと、TAKAMAZはIT関連事業を積極的に推進しています。環境条件や空気清浄度を徹底管理するクリーンルームを設け、液晶や半導体などに関係する製造装置やFPC基板用装置、ガラス加工用装置等を生産しています。近年はライフサイエンス事業も展開し、新たな社会価値創造に向け、さまざまな研究を行っています。

その他の事業

農産・食品加工機械の製造・販売およびFAシステムの提案・構築

工作機械事業の分野で培った知見を生かし、ぎんなん殻割機（自動・半自動）を開発。その後、ぎんなん・にんにく等薄皮剥き機「忍太郎II」および、にんにく等ほろわり機「わっ太郎」を開発・販売し、高評価をいただいています。また、自動化システム構築の実績を武器に、資源ごみAI選別機「AI・B-sort」を開発し、リサイクル業界にも参入。あらゆる生産現場への自動化を図るお客様を全面的にサポートし、製造者の負担軽減や生産の効率化を目指します。

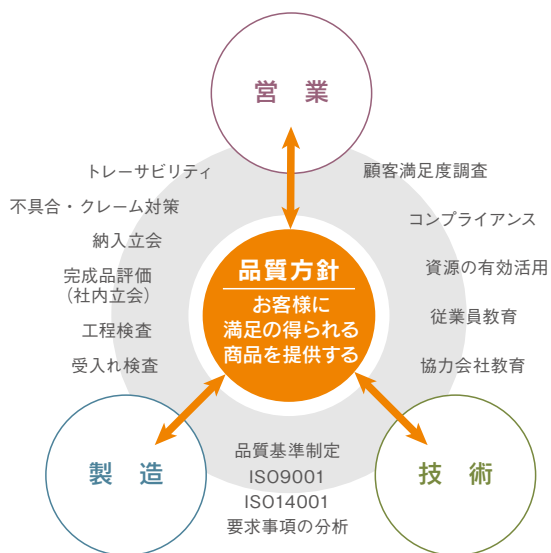


開発力と技術力で安心を届ける品質保証体制

全社員による徹底した品質保証

次工程はお客様

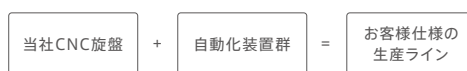
TAKAMAZの製品は、基幹部品組付後、24時間のテストランニングを実施し、基本動作に対する繰り返し精度の安定性を確認できてから、初めて次工程へ作業の引き継ぎを行います。出荷時にはビスの緩み一つ許さない厳密な検査を行い、100%の完成度を維持しています。社員一人ひとりが当事者意識を持ち、各工程での品質確保を徹底することで高品質を維持しています。また、品質に関する知識の底上げを図るべく、品質管理に関する検定の受験促進や外部講師によるセミナーを実施。全社を挙げて品質保証体制の構築に取り組んでいます。



カスタマイズを可能とする自動化技術

豊富なノウハウと製品群

TAKAMAZでは、省人化のニーズに応えるため早くから自動化に取り組んできました。CNC旋盤に自社開発のローダやワーク供給装置、洗浄装置、計測装置など多彩な周辺装置を取り付けた製品や、複数台を連結したお客様仕様の生産ラインを提供しています。また各種装置のみならず、加工方法や工具選定にいたるまで、お客様にメリットのある生産技術を提案することでトータルなサポートを行っています。



ユーザニーズに応える製品開発

お客様第一主義の製品開発・たゆまぬ向上心でリピート率は90%超

素材から完品まで一貫加工でき、工程集約のニーズに応えるTAKAMAZのCNC旋盤は、世界中で稼働しています。お客様主義の製品開発を第一に掲げ、製品を熟知した営業員はもちろん、設計者自らがお客様の生の声に耳を傾けることで、要望をきめ細かく製品に反映することができます。お客様の生産形態に合わせてあらゆるニーズに対応できることから、そのリピート受注率は90%以上を誇ります。



トップメッセージ

代表取締役社長 高松 宗一郎

1948年の創業以来、弊社は「稼ぐ機械を提供する」をモットーに掲げ、

「お客様第一主義」を貫いてきました。

機電一体型による省スペース化、自社開発の自動化周辺装置による省人化、

そしてメイドインジャパンにこだわった高品質な製品の提供に努めてまいりました。

その結果、おかげさまで国内外合わせて8万台に及ぶ納入実績を重ねることができました。

我々が製造する工作機械は、あらゆる産業の礎を築く母体に喩え「マザーマシン」と言われています。

「優れた製品は優れた生産設備から生まれる」という自覚と誇りを胸に、日々技能の鍛錬に邁進し、

これからもお客様の満足度向上を目指していきます。

沿革

TAKAMAZは1948年の創業以来、常に良いものを追求し、お客様に提供し続けることで、工作機械分野で70余年を超える歴史を築いてきました。

- 1948 ・高松喜一個人経営にて高松鉄工所設立
当初は織機メーカーの下請けとして事業開始
- 1960 ・面取旋盤T600の製造により工作機械へ進出
- 1967 ・日本小型工作機械工業会に加入（現・日本精密機械工業会）
- 1968 ・金沢市松村町に本社工場新設移転
- 1973 ・高松邦 社長就任
・東京出張所（現・関東支店）を開設
- 1974 ・精密油圧自動旋盤メリターを販売開始
- 1976 ・大阪出張所（現・大阪支店）を開設
・CRT付対話型CNC旋盤TCC-8（油圧）を第8回東京国際見本市にて発表
・CNC旋盤を生産開始

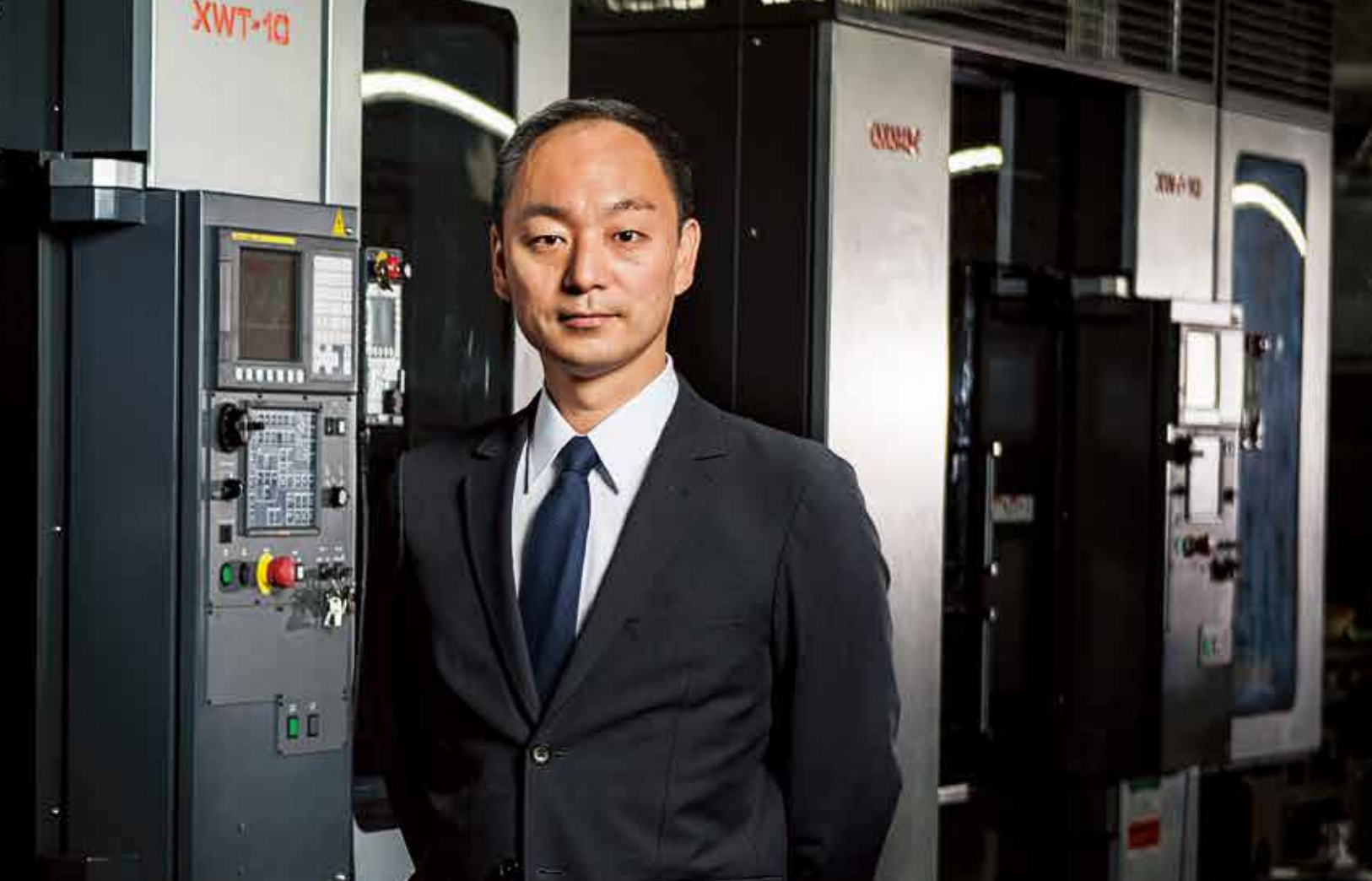


面取旋盤T600



第二工場ではコレットチャックを製造

- 1977 ・9社合同でアイ・アール・ジーを設立。固有の技術を持ち寄り、釣具（リール）の生産に着手、異業種交流の先駆けとなった
- 1982 ・TQC導入
・子会社ファースト・マシン・ファイナンス設立
・名古屋営業所開設（現・名古屋支店）
- 1985 ・松任市（現・白山市）旭丘工業団地（現在地）に本社工場を新設移転
- 1986 ・常陸宮両陛下ご来社
- 1988 ・川江豊吉 社長就任
- 1989 ・合弁会社 株式会社タフコン設立
【TCON88】によるコンクリートベッド製造開始
・エマグ社（ドイツ）とコンクリートベッド製造について技術提携
- 1991 ・日本工作機械工業会に加入
・第二工場を新設、産機部移転
- 1996 ・アメリカシカゴにて TAKAMATSU MACHINERY USA, INC. を設立
・川江豊吉 会長就任
・高松喜与志 社長就任
- 2001 ・日本証券業協会店頭登録市場に上場。資本金124,740万円に増資
・第三工場を新設し、自動車部品加工を開始する
・JIMTOF当社小間に森喜朗総理（当時）が表敬訪問
- 2003 ・タイにて TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO.,LTD. を設立
・エマグ社（ドイツ）との合弁会社 株式会社タカマツエマグを設立
・石川ソフトリサーチパーク内に「開発センター」を新設



- 2004 ・友嘉実業股份有限公司 (台湾) と、当社製の工作機械の製造を行う
合併会社 杭州友嘉高松机械有限公司を中国・浙江省に設立
- 2006 ・東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 2008 ・FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD. (台湾) との合併会社
株式会社エフ・ティ・ジャパンを設立
・株式会社コバヤシエムエフジーより同社の金属板金加工事業を
譲り受け、同事業開始
- 2009 ・ドイツにて TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH を設立
- 2010 ・USLシリーズが、日本機械学会「優秀製品賞」を受賞
・中国杭州にて喜志高松機械 (杭州) 有限公司を設立
・高松喜与志 白山商工会議所 会頭就任
- 2012 ・新規事業推進室開発機「ぎんなん穀割機」(銀太郎) 完成
- 2013 ・インドネシアにて PT.TAKAMAZ INDONESIA を設立

- 2015 ・タイにて合併会社 TP MACHINE PARTS CO.,LTD. を設立
- 2017 ・メキシコにて TAKAMAZ MACHINERY MEXICO,S.A.DE C.V.
ベトナムにて TAKAMATSU MACHINERY VIETNAM CO.,LTD を設立
・灘地康生が「卓越した技能者 (現代の名工)」表彰を受賞
- 2018 ・高松喜与志 会長就任
・高松宗一郎 社長就任
・高松喜与志 石川県経営者協会 会長就任
・高松喜与志 日本精密機械工業会 会長就任
・創業70周年を記念して、石川県産業展示館にてプライベート
ショーを開催
・第四工場を取得
- 2019 ・タイにて EASTERN SEABOARD BRANCH を設立
- 2022 ・あさひ工場を新設
・東証スタンダード市場へ移行



杭州友嘉高松机械有限公司設立



ぎんなん自動穀割・穀実分離機「銀太郎」



高松喜与志会長 (左)、高松宗一郎社長 (右)



創業70周年記念プライベートショー

海外でも安心、信頼のネットワーク

TAKAMAZは1970年代から海外へと販路を広げ、現在ではアメリカやドイツ、中国、タイなど、7カ国・10地域に営業拠点を置いています。国内同様に、専門知識を備えたセールスエンジニアがオーダーメイドの製品のご提案からアフターメンテナンスまで、迅速に対応いたします。国ごとに異なるニーズを捉えた地域密着型・提案型営業を展開し、海外のお客様からも多くのリピート受注をいただいています。

■ネットワーク拠点



ドイツ
2009年にドイツ現地法人を設立。
欧州現地ディーラと営業サポート
提携を結び、活動範囲を広げています。



あさひ工場
TAKAMAZの全生産拠点の中核と
位置づけ開設。最新鋭の設備を揃
え、SDGsを意識した人にも環境に
も優しい工場となっています。



アメリカ
1996年にシカゴ近郊に現地法人を
設立。



中国
中国屈指の産業都市である浙江省の
省都杭州に工場を有しています。



ベトナム
日系企業の進出が相次ぐホーチミンに
拠点を構え、サポート体制を整えています。



インドネシア
ショールームを構え、地域に根差した
サポート体制を整えています。



タイ
タイ全土で納入実績が2,500台を越え、
今後は南部ラン県エリアへのサポート
充実を図ります。



メキシコ
日系自動車企業がもっとも集積する
メキシコ グアナファト州に拠点を構え
ています。

「企業は人なり」、優れた製品は人づくりから

次世代を育てる教育体系

経済のボーダレス化・グローバル化に対応するために、TAKAMAZでは技術力・情報力・デザイン力を強化させようと人材の育成に努めています。新入社員研修では、配属先を問わずNCプログラムやCNC旋盤の操作習得、測定機器の使用方法など工作機械への理解を深めるトレーニングも実施。このほか、年次研修、階層別教育も定期的に行っています。



・新入社員研修 ・階層別・職能別教育 ・国家技能検定受験教育 ・QCサークル活動

充実の自己啓発支援制度

TAKAMAZは社員のスキルアップ・キャリアアップへの支援にも力を入れています。オンライン英語教育や、自己啓発のための通信教育には受講料を補助。会社指定の資格を取得した場合には、その重要度や難易度に応じて奨励金を支給しています。また、国内の大学院や研究所の社会人過程で学ぶ社員を対象に、学費の補助も行っています。

奨励資格一例

・技術士 ・国家技能検定（2級以上） ・QC検定 ・実用英語技能検定（準1級以上）
 ・衛生管理者 ・知的財産管理技能士 ・基本情報技術者 ・安全保障貿易管理士

クラブ活動

TAKAMAZでは社員同士のコミュニケーションを活性化させようと、クラブ活動も積極的に奨励しています。野球・ゴルフ・バレーボール・テニス・釣りなどのクラブがあり、中でも卓球部は全国大会に勝ち進む実力を誇ります。バスケットボール部やフットサル部も地方大会で優勝するなど、活発に活動しています。

[会社概要] (2024年現在)

商号 高松機械工業株式会社
創業 1948年9月
設立 1961年7月
資本金 18億3,500万円
年商 141億8,400万円（2024年度、連結）
代表者 代表取締役会長 高松 喜与志
 代表取締役社長 高松 宗一郎
従業員 502名
本社住所 〒924-8558 石川県白山市旭丘1丁目8番地
 TEL (076) 207-6155 FAX (076) 274-1418

事業内容 ・CNC旋盤等の製造・販売およびサービス・メンテナンス
 ・部品・コレットチャック等の製造販売
 ・IT関連製造装置の製造
 ・自動車部品加工
 ・農産・食品加工機械の製造



国内拠点

■ 本社・工場

〒924-8558 石川県白山市旭丘1丁目8番地
TEL (076) 207-6155 FAX (076) 274-1418

【サービス受付専用ダイヤルイン】

TEL (076) 274-1400 FAX (076) 274-1454

【部品受付専用ダイヤルイン】

TEL (076) 274-1407 FAX (076) 274-1454

■ あさひ工場

〒924-0004 石川県白山市旭丘4丁目13番地
TEL (076) 274-0123 FAX (076) 274-8530

■ 第2工場

〒924-0004 石川県白山市旭丘2丁目18番地
【コレットチェック受付専用ダイヤルイン】

TEL (076) 274-1443 FAX (076) 274-3170

■ 第3工場

〒924-0004 石川県白山市旭丘2丁目18番地
TEL (076) 274-1448 FAX (076) 274-1446

■ 第4工場

〒924-0004 石川県白山市旭丘1丁目7番地
TEL (076) 274-2515 FAX (076) 274-2516

■ 開発センター

〒924-0838 石川県白山市八束穂3丁目3番地
TEL (076) 274-1442 FAX (076) 274-1345

■ 関東支店

〒360-0042 埼玉県熊谷市本町2丁目48番地(ユニバース熊谷ビル1F)
TEL (048) 521-8771 FAX (048) 520-2189

■ 大阪支店

〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1丁目5番地28号(新大阪テラスサキ第3ビル2F)
TEL (06) 6395-3252 FAX (06) 6398-2430

■ 名古屋支店

〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋2丁目1番地12号(橋AKビル2F)
TEL (052) 332-6801 FAX (052) 332-6303

■ 浜松営業所

〒430-0929 静岡県浜松市中央区中央3丁目15番地1号(EKビル6-D)
TEL (053) 456-2530 FAX (053) 456-2531

■ 厚木営業所

〒243-0018 神奈川県厚木市中町3丁目9番地15号(厚木JCビル101号室)
TEL (046) 240-9820 FAX (046) 240-9424

■ 東北営業所

〒981-1217 宮城県名取市美田園5丁目4番地1号(アルモニーパル101号室)
TEL (022) 784-1882 FAX (022) 784-1883

■ 北信越営業所(北陸)

〒924-0004 石川県白山市旭丘4丁目13番地
TEL (076) 274-1405 FAX (076) 274-8530

■ 北信越営業所(信越)

〒955-0092 新潟県三条市須頃2丁目13番地(パークハイツ須頃1階102号室)
TEL (0256) 36-5560 FAX (0256) 36-5567

■ 広島営業所

〒732-0827 広島県広島市南区稲荷町1番地1号(ロイヤルタワー8F)
TEL (082) 568-7885 FAX (082) 568-7886

海外拠点

■ TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC.

・CHICAGO HEAD OFFICE

■ TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH

■ 喜志高松機械(杭州)有限公司

TAKAMAZ MACHINERY (HANGZHOU) CO., LTD.
・HANGZHOU HEAD OFFICE

■ TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD.

・BANGKOK HEAD OFFICE

■ PT.TAKAMAZ INDONESIA

■ TAKAMAZ MACHINERY MEXICO, S.A.DE C.V.

■ TAKAMATSU MACHINERY VIETNAM CO., LTD

関連会社

■ 株式会社エフ・ティ・ジャパン

〒924-0004 石川県白山市旭丘4丁目13番地
TEL (076) 274-1988 FAX (076) 274-8530

■ 杭州友嘉高松机械有限公司

NO.6800, JIANGDONG 3RD ROAD, JIANGDONG INDUSTRIAL PARK, XIAOSHAN,
HANGZHOU, ZHEJIANG, CHINA
(浙江省杭州市萧山区杭州江东工业园区江东三路6800号)
TEL +86-(0)571-8215-3760 FAX +86-(0)571-8286-5311

詳しい情報はこちらからご覧いただけます。▶
<https://www.takamaz.co.jp>

